

報告します 委員会は今

総務文教常任委員会

せら教育の日成果と課題は

現地調査

工事の進捗状況調査

- 1 津久志自治センター
- 2 西大田自治センター
- 3 寺町公園
- 4 防災格納庫

現在、工事は順調に進んでいるが、震災・消費税率アップの影響により資材の入手や作業員の確保が懸念されている。

要望書の現地調査

甲山中学校グラウンドの排水整備

グラウンド面に水がうっすら浮き出ており、暗渠排水施設が十分機能していないと思われる。

せら教育の日・教育月間

せら教育の日関連

「輝く、せらの学校文化発表会」

○ステージ発表の部

町内各小中学校の児童生徒により日ごろの活動成果を発表するとともに、他校の学校文化に触れ、心豊かな表現力を育成した。

次年度からは、ホールの収容人数などを考慮し、より多くの町民の方に観賞していただくようにしたい。

○展示の部

町内2か所において児童生徒の創作及び学習意欲の向上を図る目的で、郡美展推奨作品、図書ポップ入賞作

品、世羅高校作品などを展示した。今後は、作品の展示方法にも工夫するなどし、より鑑賞しやすくしたい。

せら教育月間関連

演劇、文化芸術体験、文化講演会、その他関連団体の事業など7種類の催しを実施し、文化芸能の体験学習を行った。

人事評価と

職場の活性化

職員が各人成果目標を設定するとともに、その達成度を測ることにより、能力開発を行う評価制度で、サービス度、財政、業務目標、人材育成の4点で目標設定し評価する。評価結果は、現時点では人

材育成が主眼である。

介護保険制度改正の動向

平成26年2月介護保険関係の法令が改正され、要支援1、2は運営母体が国から各市町

に移管される。住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」として実現することになるが、現時点では、詳細は不明である。



津久志自治センター現地調査



東自治センター・宿泊施設 現地調査

産業建設常任委員会

インフォメーションセンター (仮称)の有効活用を

現地調査

○世羅町上下水道課東神崎地区の土場の使用許可について。
○簡易水道敷設の陳情。(長田地区)
○町道局三步市線の改良を求める要望書。(下津田) 3件の陳情申請に伴う現地を確認した。

○東自治センター宿泊施設改築工事
○国道432号の下水道工事
2件の進捗状況を調査した。

事務調査

○米の作況及び米価と来年度の減反について

国の作況指数は全国が102、県は100で米価も低下した。国の来年度の生産目標は減少し町への影響も大きい。日本型直接支払制度の創設を含め国の農業政策は大きく変わっていく。

○公共下水道事業の状況
①現在の加入率は約54%
②次年度の事業計画
米町地区と国道432号の工事予定
③一期工事完了見通し
当初より補助金割当が少なく(震災関連)、工事完了は平成33年度見込み

○一般廃棄物収集運搬業務について
経過説明を受け議論の結果、業務の特殊性を考慮し現行維持との結論となる。

○インフォメーションセンター(仮称)管理運営と収支計画について
今回も基本計画の説明に終始し、運営面など不確定部分が多く、引き続き詳細な説明を求める。

議会改革調査特別委員会

今後の調査項目

議会基本条例の制定

世羅町議会においても議会改革の一環として、議員の資質、役割、行動などあらゆる原理原則を定めた議会基本条例の制定が喫緊の課題である。議会基本条例制定は、住民と議員にとって大変重要な問題であるので、その目的・輪郭などを全委員で議論して結論を出すことにした。

政務活動費のあり方

議員が活動するには、能力向上を図ること、情報を収集することが必要であり、そのために参考書の購入、研修会への参加及び会場への交通費など経費を要する。その実費弁

償として政務活動費の支給が認められている。

本委員会においても、議員の資質向上を図り議会活動の活性化のため活動費を検討する必要があるとの意見が出た。

しかし、拙速に結論を出すことなくあらゆる資料を収集するなどし、平成26年9月を目途に調査することにした。

